

受講番号 19016 学校名 高知工業高等学校 氏名 川田 千砂

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 2年生機械科 生徒数 39名
 科目名 英語Ⅰ 単位数(授業時数) 2時間 使用教科書名 WORLD TREK ENGLISH COURSE I

クラスの様子・特徴

元気がよく授業態度も良いが、習熟の度合いが極端なクラスである。英語の必要性は理解できており、「英語がわかるようになりたいが苦勞している状態」であると感じている。

問題の確定

授業時間が少ない中で、英語の基礎力を定着させるにはどうすればよいか

予備調査

A 授業の観察	B 生徒による授業評価	C 学カデータ
Be動詞の使い分けや、動詞の活用、疑問文や否定文の作り方など基本的な内容が身につけていない生徒が多数いるが、大きな声で音読ができ、取り組みも良いクラスである。	1年生から担当しているクラスで、何度か行った授業評価アンケートでは、改善しなければならないところは多少あるが、概ね肯定的な評価を受けている。	望月語彙サイズテスト(1000語レベル) 平均27問正解 望月語彙サイズテスト(2000語レベル) 平均15問正解

リサーチ・クエスト

英語がわかる・できるという実感を持てるように、基礎的な英語力をつけさせるためにはどのような指導が効果的か

仮説・実践・検証

仮説1 単語のインプットをゲーム感覚で行えば、全員が授業へ参加する姿勢ができ、単語の習得・定着につながるだろう	実践1 毎時間、語彙インプットシートを使って、本文に出てくる単語や熟語を全体で読み、パートごとの単語シートに7分程度書いて覚えさせた後、単語テストゲームを行った。Lines & Rowsを黒板の前で行うような形を取り、スペルと発音が正しいかどうか確認した。	検証1 単語ゲームの難易度が上がったので、最初は生徒に嫌がられると思ったが、意外にもほぼ全員が時間いっぱい黙々と書く作業に取り組み、ゲームを楽しんでくれた。2学期期末試験では語彙問題の正答率が22%も上がった。アンケートによると、この活動に関し、「非常に良い」「よい」と答えた生徒は91%に上り、「書いて覚えたことで、単語が良くわかったし、文などを読むにしても読みやすい。」という嬉しいコメントももらった。
仮説2 授業の冒頭で、最近の話題やニュースについてteacher talkを実施し、簡単な英語でのやり取りを行っていけば、英語に対する興味や関心が高まるだろう	実践2 授業始めに、最近のニュースを英語で話したり、板書したりして何のニュースが当てさせた。また、そのニュースについて簡単に英語で対話し、語句の説明を行った。	検証2 当初はリスニングの活動の予定であったが、反応する生徒が限られてきたので、黒板に文を書いて、何のニュースについてのものか当ててもらう形式に変えた。アンケートではこの活動が「非常に良い」「良い」と答えた生徒は、85%であった。タイムリーな話題に英語で触れることで英語に対する親しみや関心をもってもらえたのではないかと感じている。
仮説3 文法の説明や例文を工夫して、全体指導、個別指導を徹底すれば、「わかる」という実感を持たせることができるだろう	実践3 文法指導の際に、次の4点を心がけた。①昨年までの教具を改良する。②全体での説明のときに、興味を引く例文を提示する。③個別指導の際、アプローチを変えながら説明する。④授業の終わりに、白い紙を生徒に配付し、その日の授業でわからなかったところや感想を自由に書かせて、次の時間にフィードバックする。	検証3 今までの文法指導では個別対応に時間がかかりすぎていたが、今回、特に全体指導に力を入れることにより、わかる生徒が増え、生徒同士の教えあいができるようになった。2学期期末試験の文法問題の正答率は、中間試験時に比べ11%上がっていた。

研究の成果

仮説1では、単語を読み、書いて覚えたことで、発音も意味も定着し、本文の内容がわかりやすくなったという感想が多きかった。生徒自身がやりがいを実感して積極的に取り組んでくれたことで期待以上の効果が得られたのだと感じている。仮説2では、楽しみにしてくれていた、英語にするとこういう表現になるのかとメモを取ってくれている生徒もいた。以前と比べ英語を身近に感じ、英語への興味や関心が高まったように感じている。仮説3では、全体の説明をしっかりと聞いて、分かるようになってくれている生徒が随分と増えたように感じている。

今後の授業改善の課題

実践1のLines & Rowsでは、当たる生徒に限られてくる傾向があるので、出席番号順にするなど全員に機会を均等に与える方法をとってきたい。実践2では、男子生徒が多いこともありスポーツの話題が多かったので、ジャンルが偏らないように注意し、会話の機会を増やしてきたい。実践3では、これからわかりやすい文法説明を心がけ、誠意を持って個別対応し、信頼関係が持続するように努力してきたい。

リサーチについての問合せ先:

職場電話

088-831-9171

電子メール